

定例公安委員会の開催状況について

令和6年4月25日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 令和6年度警察官・警察行政職等採用試験の概要等について

令和6年度警察官・警察行政職等採用試験の概要等について報告があった。

委員から、外国語や情報処理といった資格を持っている方に加点される制度があることを積極的に広報して優秀な人材を確保していただきたい旨の発言があった。

委員から、採用予定人数はどのようにして決めているのかとの質問があり、警務部長から、条例で警察官の定数が定められており、不足すると見込まれる人数を採用予定人数としている旨の説明があった。警察本部長から、定年延長等を想定して定員上限を確保できるように努めている旨の発言があった。

(2) 春山期における山岳遭難の防止対策等について

春山期における山岳遭難の防止対策等について報告があった。

委員から、山形県警察山岳救助隊員に指定された職員へ指定書が交付されたということであるが、隊員の士気高揚に繋がることを期待する旨の発言があった。

委員から、登山や山菜採りで入山する方への注意喚起や啓発活動に力を入れるとともに、有事に備えた救助体制をしっかりと整えることが重要である旨の発言があった。

委員から、隊員に指定された職員は、常日頃から山の状況を見るとともに、隊員同士で技術を伝え合う等の訓練が必要である旨の発言があった。

(3) 「自転車月間」の実施について

「自転車月間」の実施について報告があった。

委員から、ヘルメットの着用を含む自転車の交通ルールについて徹底した啓発活動が必要である旨の発言があった。

委員から、危険な自転車の運転をよく見かけることから、指導や取締りを通じて交通ルールの周知やマナーアップを図ることが必要である旨の発言があった。

委員から、自転車ヘルメット着用推進モデル校と協力するなど特定の学校等を巻き込んだ取組が有効ではないか旨の発言があった。

(4) 指定警護要員総合訓練の実施について

指定警護要員総合訓練の実施について報告があった。

委員から、要人警護における突発事案は地方都市でも起こっていることから、ブラインド型の訓練を行うことは非常に重要である旨の発言があった。

委員から、有事の際には一瞬の小さな判断ミスが大きな事件事故に繋がる恐れがあることから、訓練により組織及び個人としての対応能力を高めていただきたい旨の発言があった。

委員から、ブラインド型で訓練することにより、有事の際に何が足りないのか把握できることから非常に有効である旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 援助の要求について
警察本部から、令和6年度能登半島地震に係る援助要求について説明を受け、部隊の派遣を同意決定した。
- 犯罪被害者給付金申請に係る裁定について
広報相談課犯罪被害者支援室長から、犯罪被害者給付金の申請に係る説明を受け、支給の裁定を行った。
- 運転免許関係行政処分審査
運転免許課交通聴聞官から、運転免許の取消処分にかかる意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。
- 銃砲等所持者の統計に係る報告
警察本部から、銃砲等所持者の統計について報告があった。